ボランティア・協働情報紙　～まなびとボランティアをサポートする～

第100号
令和6年12月
発行

まなぼら

Contents

特集
『まなぼら』100 号感謝記念
元気人
朗読劇ボランティア『さざなみ 21』
防府市市民活動支援センターのイチオシ
●市民活動支援センターで支援していること
防府市生涯学習課・防府市社会福祉協議会のイチオシ
●防府市文化福祉会館感謝イベント
『ありがとう文福』を開催しました！

ついに『まなぼら』(旧まなぼらさぽーと)が１００号を迎えました！！！

『まなぼら』100号 感謝記念

平成 18 年（2006 年）から始まった『まなぼら（旧まなぼらさぽーと)』も今号で遂に 100 号を迎えることになりました！今回の 100 号に至るまでの年月はなんと…18 年！これまでインタビューをさせていただいた方々や読者のみなさまなど、多くの方々のご協力があってこそ、今日の『まなぼら』があると感じます。

今号では、これまでの『まなぼら』を振り返りながら、３機関が協働して作成している紙面だからこそ生まれていることを改めてお伝えできればと思います♪

第１章　始まりの第１号　『まなぼら』が始まった経緯とは…

1つの広報紙にしたことで…

ボランティア情報が1つに！

３機関が作成していた３つの情報紙を１つにまとめたことで、『まなぼら』を見れば防府市内のボランティア情報が丸わかりになりました！

情報発信も3倍に！

３機関がそれぞれ自分たちの関係者にのみ情報紙を配布していましたが、配布場所を変えることなく、それぞれの関係者に３機関の情報を伝えることができるようになりました！

第２章　３機関の強み・得意分野を活かして　３機関の支援ポイント

同じようにボランティアに関わる機関であっても、それぞれに強みがあり、支援していることも異なります。各機関の中でも「特にここは！」というポイントを挙げてみました♪

防府市教育委員会 教育部 生涯学習課 生涯学習相談コーナー

生涯学習の支援

学習相談、講座・教室紹介、講師・指導者の紹介、学習成果を生かす機会の提供など

生涯学習を支える人材の育成

生涯学習ボランティアや学校支援ボランティアなど地域や学校での学びを支援する人材の育成

防府市社会福祉協議会（ボランティアセンター）

ボランティア保険の取り扱い

ボランティア活動中のケガの補償ができ、安心して活動に取り組める

ボランティアコーナーの設置

ボランティア情報の提供や相談を実施し、ボランティア同士の交流の場にもなっている

防府市 市民活動支援センター

団体・個人の支援

会議室・作業室・印刷機・ロッカーの利用、情報発信・広報等、IT 活用や資料作成など

人や組織をつなぐ支援

さまざまな人や組織をつなぐパイプ役として、コーディネーターの役割も行う

第３章　『まなぼら』読者へインタビュー！

あなたにとっての『まなぼら』はどんな存在ですか？

元気人に取り上げていただいたことで…

先日、元気人に取り上げてもらってとても嬉しく感じました。活動を他の機関に説明する時には、記事を見せていますよ

私はこんな風に活用しています！

デジタルに関する講習をしてくれる講師を探していた時に『まなぼら』を見て問い合わせました！各機関がどんなことを支援しているのかを発信していただくと、団体活動につながるので嬉しいです

特集ページを見て

特集ページのワードやエクセルを使った資料作成の記事を見て、実際に試したところ、紹介されていた機能を使うことができました

募集案内を見てイベントに参加しました

親子福祉体験教室の参加者募集の記事を見て、親子で車椅子体験のイベントに申込み、参加することができました。ボランティア体験の募集があるのはいいですね

その他にこんなご意見も…

・思わず開いてみたくなるような、少しインパクトの強い表紙がいいですね
・今後は、インスタグラムや Facebook などの SNS に記事の一部(特集など)だけでも投稿し、多くの人の目にふれるようにすることで、『まなぼら』に興味を持ってくれる人も増えてほしい

貴重なご意見、ありがとうございます！

最終章　協働して作ることで生み出されるもの

情報交換・共有の場

編集会議を通して

『まなぼら』の編集会議の中で、3 機関が最近行っている事業やボランティアに関する情報を聞き合うことで、常に最新情報を共有しています。

情報量・配布先の増加

協働で3倍に！！

3 機関が協働して情報紙を発行することで、それぞれの機関だけで得ていた情報量が 3 倍に、また、配布できる範囲も 3 倍に増えました！

ボランティアに関する情報を把握

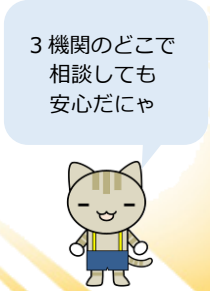
集まって話す大切さ

3 機関が集まる編集会議で顔を合わせて話すことでより綿密にコミュニケーションがとれています。担当者が変わっても、まなぼら編集部の関係性は変わりません！

相談内容にあった担当窓口をご紹介

1つの窓口で他機関もご紹介

ボランティアを希望する方が窓口に来られた時には、他の 2 機関についても説明し、『まなぼら』を渡してご案内します。『まなぼら』をお渡しすると、問い合わせ先はもちろん、どんなことをしているかも丸わかりです！



どの窓口を訪れてもボランティアに関する情報が受け取れる体制を目指し、日々業務を行っています。こうした体制作りは、『まなぼら』があるからと言っても過言ではありません。これからも読者の皆さまのために、『まなぼら』を通して情報発信ができればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします！

元気人

朗読劇ボランティア さざなみ21

記念すべき 100 号の『元気人』は、防府市生涯学習課、防府市社会福祉協議会、防府市市民活動支援センターの 3 機関にボランティア登録されている『朗読劇ボランティア さざなみ 21』（以下『さざなみ 21』）から 5 名のメンバーの方にご登場いただきました。『さざなみ 21』の皆さんは、山口県内でも数少ない朗読劇（※）の担い手として、2000 年の発足以来 20 年以上にわたり活動されています。

～『さざなみ 21』の始まり～

『さざなみ 21』の誕生は 2000 年 12 月。図書館での音声訳ボランティア活動をきっかけに朗読劇と出会い、「子どもたちの豊かな表現力を引き出すことのできる朗読劇の魅力を防府市でもぜひ広めたい」との強い思いを抱かれた方々により立ち上げられました。『さざなみ 21』の名前については、「今は小波（さざなみ）でも、いつかは大きな波に」との願いを込め、また、21 世紀を目前に発足したことに因んで付けられたそうです。

～"楽しい！"が心を動かす～

現在は、図書館での活動を中心に放課後子ども教室や幼稚園で上演されるほか、年齢に応じて演目を工夫され、公民館の学級・教室などで乳幼児から高齢者まで楽しく交流できる場を提供されています。

朗読劇の魅力について、皆さんは「誰かの心を動かすきっかけを作れること」と熱く語られます。自分たちが楽しみながら演じることで、初めは騒いでいた子どもたちが、いつの間にか劇に夢中になっているということがしばしばあるそうです。また、それまで発表をしたことがなかった児童や、担任の先生も 1 年間しゃべる姿を見たことのなかった生徒が、朗読劇の活動を通して楽しそうに自分を表現している様子はとても印象的だったと感慨深げに話してくださいました。

～『さざなみ 21』は一生涯の仲間、帰る場所～

活動開始から 24 年が経った現在もメンバーの朗読劇に対する情熱は衰えず、気になるところはお互いに遠慮なく指摘しあい、細部にまでこだわり抜くなど、全員が常に「良い作品を作りたい」という思いで日々活動されています。一方、活動を離れると、ちょっとしたお出かけのことなどプライベートの些細なことも報告しあうそうです。そんな気の置けない仲間とのつながりは、皆さんにとってかけがえのない宝物のようで、「一生一緒にいたい」、「ここは最後に帰って来たい場所」と話される笑顔が明るく輝いていました。

今後の目標については、「メンバーを増やし、大人も子どもも一緒に楽しめる朗読劇を次世代につないでいきたい」と力を込めておっしゃっていました。

【問合せ】防府市図書館　Tel（0835）22-0780

(※)ジェスチャーを交えながら感情を込めて物語を読み上げる劇。1980 年に児童演劇研究者であった故・岡田陽（あきら）玉川大学名誉教授が日本に紹介し、広めた。

防府市市民活動支援センター

イチオシ

＼市民活動支援センターで支援していること／

防府市市民活動支援センターでは、登録していただいている団体の日頃の活動や団体運営に役立つ講座や情報の発信を行っています。この度は、団体活動がより広く、多くの方へ届くようにと実施している“広報”に関する支援についてご紹介します。

今回は 広報 の支援についてご紹介します！

98号では、資料作成の支援についてお伝えしています そちらもぜひ、ご覧ください♪

■チラシ・ポスターの配布

市内各所へのチラシ・ポスターの配布を支援しています！

配布できる場所

市役所、市内の公民館・公共施設等

※配布の準備（チラシの印刷）をされる前には必ず市民活動支援センターへ原稿をご提出ください！内容を確認します。

■コミュニティFMでの情報発信

FM わっしょい（ルルサス防府 1 階）において、団体活動の PR を行うことができます！

放送日時

毎週月曜日　11 時 00 分頃～（15 分程度）

※生放送

※スタジオか電話が選べます。

放送の様子は、市民活動支援センターのブログをご覧ください♪

■まなぼら・市広報への記事掲載

団体活動の情報発信やイベントの広報記事を『まなぼら』や市広報に掲載することができます！

原稿には提出締め切りがありますので、気になる方はお早めに市民活動支援センタースタッフまでご相談ください。

▲『まなぼら』information(7P)

■チラシの作成支援

チラシ等作成ツール“Canva(キャンバ)”を使ったチラシ作り講座などを開催し、団体活動やイベントの情報発信に活用していただけるよう支援しています。

▲簡単にプロっぽいチラシを作ることができます♪

お困りごとがありましたらまずは市民活動支援センターへご相談ください！

イチオシ

10月26日（土）
防府市文化福祉会館感謝イベント『ありがとう文福』

令和６年 12 月末をもって閉館する防府市文化福祉会館に 52 年間の感謝の気持ちを込めて、防府市生涯学習課と防府市社会福祉協議会が中心となり、～感謝イベント～『ありがとう文福』を開催しました。

朝早くから多くの方が来館され、先着 300 名にはメモリアルグッズとして文福オリジナルのペットボトル水とキットカットが配られました。

延べ 450 名の来場者の方が、それぞれの思い出とともに、さまざまな内容のイベントを楽しまれた一日でした。

わくわく学び塾♪

指導者バンク登録講師による公開講座『わくわく学び塾』、今年度の１回目は、方言研究家として各方面で活躍されている森川信夫さんに『防府の方言について知ろう！』と題してお話しいただきました。

「こつる」や「えらい」、「おーちゃく（横着）」など普段何気なく使っている方言の由来や使い方、発音などを面白く、分かりやすく伝えてくださり、参加者のみなさんは楽しみながら学ばれたようでした。

講座・サークルの作品展示、ワークショップ♪

市民教養講座の『着物リメイク』、『くらしの書』の講師作品展示のほか、サークル『フラワーアレンジメントの会』によるワークショップが開催されました。参加者は、プリザーブドフラワーやアーティフィシャルフラワーを思い思いに飾り付けながら、アレンジメントの作品づくりに笑顔で取り組んでおられました。

おもちゃづくり体験♪

防府市子ども会育成連絡協議会のおもちゃづくり体験コーナーでは、たくさんの子どもたちが夢中になって『びっくりおばけ』や『ぴょんぴょんガエル』などのおもちゃをつくっていました。

おもちゃづくりのほかにも輪投げやお菓子のつかみ取りが行われ、会場はずっと子どもたちの熱気に包まれていました。

防府市社会福祉協議会

「だれもがワンボラ運動」
つぼみちゃん

ホーフゥ人形▶

を開催しました！

ボランティアコーナー
防府ボランティア連絡会♪

ボランティアコーナーでは、災害時のお米の炊き方を学び、スーパーボールやおもちゃの金魚すくいを用意して、子どもたちも楽しむ様子が見られました。

防府ボランティア連絡会では、ハンドメイド作品を販売し、売上金額の全てを能登半島へ寄付されました。

親子福祉体験教室♪

親子福祉体験教室は、午前と午後の部を含め合計 18 名の方が参加されました。参加者は、親子で車椅子に乗って文化福祉会館内を回り、中庭を一周して館内の自動販売機でジュースを買いました。

参加者は「車椅子に乗ると高い所の物を取るのが大変だったので手伝いたい」や「介助者との信頼関係が大切。相手がどのように思っているか質問して積極的に声かけしたい」と振り返っていました。

アイマスク体験♪

アイマスク体験は、介助者とアイマスク装着者が 2 人１組のペアとなり、①手で触れた物を何か当てる、②茶菓子の袋を開封して何を食べたかを答える、③当日の日付、名前、学年、防府市文化福祉会館もしくは好きな食べ物を記入する体験活動で、41 名の方が参加されました。

参加者は「鉛筆を握るのが難しく、まっすぐ書けず斜めになった」や「目が見えない人のために、ここは危ないですよ、と言う声かけをしてあげたい」と感想を述べていました。

皆さまには長年にわたり、防府市文化福祉会館をご利用いただきありがとうございました。
令和７年１月から、市生涯学習課は市役所新庁舎本館８階へ、市社会福祉協議会は新庁舎福祉棟２階へ移転します。これからも、よろしくお願いします。

information

時 時　間　場 場　所　内 内　容　対 対　象　人 定　員　¥ 参加費　持 持参物　申 申込み　問 問合せ

12/21（土） 団体基盤強化講座 助成金申請のいろは座談会

時 13：30～15：30
場 ルルサス防府２階
市地域協働支援センター 研修室２
内 助成金申請を経験している NPO 団体から体験談を聞こう、座談会
対 NPO 団体・個人の方
人 10 団体　¥ 無料
申 問 市市民活動支援センター
TEL（0835）38-4422

R7 募集締切 1/15（水） 防府市役所新庁舎開庁記念　第31回防府市生涯学習フェスティバル 第27回「学ぼうやコンテスト」イラスト作品募集

「新しくやってみたいこと」をテーマに「学ぼうや」や「学ぼうや家族」を入れて描いたイラストを募集します。

（学ぼうや家族）

対 どなたでも
内 横向きのハガキまたはハガキと同サイズの画用紙（色は問わない）にイラスト（クレヨン、色鉛筆、水彩など何でも）を描き、作品の裏面にタイトル・住所・氏名・電話番号（園児の場合は園名、児童・生徒の場合は学校名・学年）を記入して提出
申 問 防府市生涯学習フェスティバル実行委員会【事務局】市生涯学習課　生涯学習係
TEL（0835）23-3013　※１月６日（月）以降は（0835）25-2922
詳細については、市 HP をご覧ください。

1/24(金) 2/8(土) ママのコミュニティ「わっこ」ママのための茶話会

時 10：00～14：00　¥ 無料
場 1/24(金)向島老人憩いの家
2/ 8(土)ルルサス防府２階 市市民活動支援センター 会議室２
内 不登校や行きしぶりの子どもをもつ家族の茶話会
対 不登校や行きしぶりの子どもをもつご家族
申 問 市市民活動支援センター気付
ママのコミュニティ「わっこ」まで

R7 再開 1/27～（月） 収集ボランティア

内 集められたものは市社会福祉協議会事務所までお持ちください。

収集するもの	収集ポイント
エコキャップ	よく洗って乾かす
使用済み切手	消印がわかる状態で １ ㎝程度の範囲で切り取る
書損じはがき	消印が押されていないものが対象

R7 2/12～3/19 毎週（水）全6回 第46回市民手話講習会 ～手話の基本が学べる講座～

時 【昼の部】10：00～11：30
【夜の部】19：00～20：30
場 防府市創業・交流センター 会議室
対 市内在住の手話に関心のある方
人 各 15 名（先着順）
¥ 無料
申 令和６年 12 月 16 日（月）から先着順
問 市社会福祉協議会
TEL（0835）22-3907

編集後記

『まなぼら』は、３機関が協働で編集している情報紙です。
発行月は６月・９月・１２月・３月です。

１月６日（月）から所在地、電話、FAX が以下のように変わります。
〒747-8501
防府市寿町 7-1
防府市役所本館８階
(0835)25-2922　(0835)23-3011
メールの変更はありません。

１月６日（月）から所在地が以下のように変わります。
〒747-8501
防府市寿町７-1
防府市役所福祉棟２階
電話、FAX、メールの変更はありません。

２機関（防府市生涯学習課・防府市社会福祉協会）の所在地が変更になりますので、ご注意ください！
防府市市民活動支援センターは特に変更ありません♪

防府市教育委員会教育部生涯学習課 生涯学習相談コーナー

〒747-0026
防府市緑町１丁目 9-2
防府市文化福祉会館内１階 10 号
(0835)23-3013
(0835)38-8131
shougai@city.hofu.yamaguchi.jp

防府市社会福祉協議会（ボランティアセンター）

〒747-0026
防府市緑町１丁目 9-2
防府市文化福祉会館内１階 14 号
(0835)22-3907
(0835)25-1388
fureai-net@hofushishakyo.jp

防府市市民活動支援センター

〒747-0035
防府市栄町１丁目 5-1
笑顔満開通り ルルサス防府２階
(0835)38-4422
(0835)24-7733
shimin@hofu-saport.org

まなぼら100号記念　読者アンケート

『まなぼら』が 100 号を迎えました。今後、さらに皆様に役立つ充実した紙面にするとともに、よりたくさんの方に読んでいただけるよう読者アンケートを実施します。

なお、いただいた回答は、3 機関が参加しております防府市生涯学習フェスティバル内の掲示や、今後の『まなぼら』に活用させていただきます。率直なご意見をお聞かせいただけると幸いです。

~回答方法~

■Google（グーグル）フォーム■

下記二次元コードから読み取り、アンケートのご回答をよろしくお願いいたします。

※ご記入いただいた個人情報は、他の目的には使用いたしません。

締切り・・・1月31日（金）

ご協力よろしくお願いいたします！